

目 次

(1) OFIX 事業報告

- 安藤基金・大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業
研修生へのインタビュー シンシア・チョエン・ユ・シエ(台湾)
- (2) 募集案内・お知らせ
- 留学生のための日本文化体験会「国際交流茶会」の開催について
- 国際協力ひろば「アフリカ映画祭」開催！
- 「外国人府民への情報流通促進調査事業」にご協力をお願いします。

願います。

- 「ふれあい交流祭」開催！
- (3) OFIX ネットワーク
- 在大阪インドネシア共和国総領事館
- (4) 大阪国際クラブニュース
- 上海万博への旅
- (5) OFIX 国際交流員のレポート
- たばこのコスト

(1) OFIX 事業報告

■安藤基金・大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業

OFIX では、毎年アジア各国より若き 10 名の建築・芸術を専攻している学生または建築家を招聘しています。この事業は、大阪府出身の世界的な建築家である安藤忠雄氏からの寄付金と、当事業に賛同していただいた企業からの協賛金をもとに、大阪で企業研修などを通し日本の建築・芸術を学ぶ機会を提供する事によって、日本文化等への理解促進と母国の建築・芸術の発展に寄与する事を目的に実施しています。

1993 年から始まったこの事業も今年で 18 年目を迎え、これまでに 19 カ国・地域から 169 名を招聘してきました。今年度も 9 月 14 日から 10 月 13 日までの 30 日間、9 カ国・地域から 10 名が来日しました。(株)竹中工務店、(株)大林組、(株)銭高組、大和ハウス工業(株)の 4 社での企業実地研修では、建設中の現場視察や最新技術についての説明を受けるなど、熱心なご指導をいただきました。さらに、東アジア建築都市研究所のグンタ・ニチケ講師より「継続的環境と開発」についての講義やディスカッションを通して各研修生出身国特有の技術や研究を互いに共有しました。その後、大阪府内の建

築物の視察や1泊2日のホームステイなどを通して大阪の街に触れ、9月21日には大阪府木村副知事への表敬訪問も行われました。安藤忠雄建築研究所表敬日には、安藤忠雄氏のお話をはじめ同氏建築研究所の皆様のご指導を受けました。また、神戸芸術工科大学院生と淡路夢舞台で行われたシンポジウムでは、「アジア建築におけるソリューション」をテーマに、活発な意見交換や交流がありました。修了式にはタイ王国大阪総領事館副総領事、在大阪インドネシア共和国総領事館の副領事、インド総領事館副領事、中華人民共和国駐大阪総領事館領事、在大阪モンゴル国名誉領事館名誉領事、領事秘書にもご参加いただきました。また、2003年度インドネシア出身の研修生を含めた、アジア国際ネットワークセミナー参加のアジア18カ国約50名の皆様にもご参加いただき、幅広い交流が行なわれました。帰国日には、研修生全員が大阪の街と人が大好きです、と笑顔で無事帰国の途に着きました。

最後に、本事業にご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

名前	出身国/地域名
シンシア チョエン ユ シエ	台湾/台北
ジョン ソワン	韓国/釜山
アユ スクマ アデリア	インドネシア/バリ島
ムハンマド ハニフ ウィチャクソノ	インドネシア/東ジャワ
ダルシヤナ シャンタプリア ヴィターナゲ	スリランカ/アヌーラダプラ
ウォラウト マッタヤン	タイ/トラン
マクワナ ニラブ アルビンバイ	インド/グジャラート
ナムラタ マハージャン	ネパール/バグマティ
ヤオ ミン ドン	中国/上海
アリウンザヤ チンバット	モンゴル/ウランバートル



安藤忠雄氏と安藤忠雄建築研究所にて

～研修生へのインタビュー シンシア・チョエン・ユ・シエ(台湾)

1. 建築に興味を持ち始めたきっかけは何ですか。
私は美しいものが好きです。建築家として、この世界をもっともっと美しくすることが私の責任だと思います。建築という分野に関わる一員であることをとても誇りに思います。
2. 大阪は初めてですか。印象はどうですか。

いいえ、初めてではありません。でも大阪に長期滞在するのは今回が初めてです。長期の滞在を通して、大阪府民としての生活を実際に経験することができました。大阪は、人々がとても優しく、快く助けてくれただけでなく、とても美しく活気のある都市だと思いました。



3. 大阪と台湾の違いは何ですか。

私の住んでいる都市に比べると、大阪はかなりきれいで、美しいです。

4. この研修に参加して、学んだことは何でしょう。

この事業に参加できたことはとても幸運だったと思います。一つ目に、様々な国の多くの研修生に出会えたことや、大林組の同僚に出会えたこと。二つ目に、ホストファミリーを通して日本の文化を学ぶことができました。

例えば、着物や茶道です。生まれて初めて自分の着物も買うことができました。最後に、印象深く素晴らしい多くの安藤忠雄先生の代表建築を訪れました。建築学生として、私が尊敬する建築家により設立された偉大な建築物を訪れること以上にわくわくすることはありませんでした。

5. 安藤忠雄氏の建築についてどのような印象ですか。

全ての建築物は、古典的で、調和的で、気品のある、とても純粋な幾何図形的配置によって造られていました。また、特に自然光が安藤建築を左右しているのも気に入りました。日光がさすと、建物は深い自然と一体化します。安藤建築では、

屋内と屋外の仕切りが全く取り払われていました。

6. 研修先の大林組では、どのようなことを学んでいますか。
大林組では、3種類の研修がありました。1つ目は、デザイン研修。私たちは大林組のデザイン部門によるプロジェクトを担当しました。そのプロジェクトの名前は、大阪ギャラリー in 心齋橋です。そのプロジェクトは7日以内に完成させなければいけなく、大林組のデザインメンバー全員の前で、最終評価をしなければいけませんでした。二つ目は、民間土木部門との現場視察です。この研修では、橋やダム of 建築における知識を深めました。3つ目は、建築設計です。この研修の2日間には、大林組が再建を手掛けている奈良と京都のいくつかのお寺を訪れました。

7. 休日はどのように過ごしましたか。

実際、大阪ではあまり自由な時間はありませんでした。よく、私とほかの研修生は、大阪城を見に行ったり、梅田や心齋橋に買い物に行ったりしました。大阪ではいくつかの名物料理を楽しみました。例えば、お好み焼き、ラーメンやカレーです。お好み焼きは、自分で作れるように、ホームステイで教えてもらいました。とても楽しかったです。

8. 研修で学んだことを台湾でどのように生かしたいですか
私は博士号取得のため大学に通っているのですが、できるだけ早く卒業するつもりです。取得後は、大学で教えられるような仕事を探し、さらなる勉学に励むことを望んでいます。

(2) 募集案内・お知らせ

■留学生のための日本文化体験会「国際交流茶会」の開催について

日本の伝統文化「茶道」を、着物を着て楽しんでみませんか。

日時:2010年11月21日(日)

第一部 午前10時30分～午後12時30分

第二部 午後1時～午後3時

場所:大阪府堺留学生会館オリオン寮

JR 阪和線 上野芝駅から北東へ約400m

主催:(社)茶道裏千家淡交会大阪西支部なみはや青年部

共催:(財)大遊協国際交流・援助・研究協会

後援・協力:(財)大阪府国際交流財団

申込先:(財)大遊協国際交流・援助・研究協会

Tel:06-6710-0180 Fax:06-6710-0170

*2部は定員となりましたので1部のみ募集します。定員(60名)になり次第締切させていただきます。

《同時開催》大阪府堺留学生会館オリオン寮見学会

当日は、オリオン寮の施設を見学することができます。

お問い合わせは OFIX TEL:06-6966-2400 まで。

■国際協力ひろば「アフリカ映画祭」開催!

昨年度大好評だった映画祭が今年も開催されます!
11月13日(土)は映画の舞台となった国・エチオピアで活動してきた青年海外協力隊経験者のお話付きです。そして、12月19日(日)は特別回として、上映作品の監督スペシャルトークが付いています。是非ご参加ください!
チラシはコチラ↓

http://www.jica.go.jp/osaka/event/docs/101016_01.pdf

2010年11月13日(土)13:00開場

13:30～「おいしいコーヒーの真実」上映

15:15～16:15 JICA ボランティアトーク「私が見たエチオピアの真実」

【特別回】2010年12月19日(日)13:00開場

13:30～「アババとヤババ」上映

15:30～16:30 監督スペシャルトーク

【参加費】無料

【定員】最大200名

【会場】大阪国際交流センター 小ホール

<http://www.ih-osaka.or.jp/i.house/900/map.html>

【共催】JICA大阪国際センター・(財)大阪国際交流センター

【お申込み・お問合せ】

(財)大阪国際交流センター 情報企画部

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6

TEL:06-6773-8989

URL: <http://www.ih-osaka.or.jp>

お電話にてお名前、連絡先、参加人数をお伝えください。

■「外国人府民への情報流通促進調査事業」にご協力をお願いします

(財)大阪府国際交流財団、(財)箕面市国際交流協会、(特活)とんだばやし国際交流協会で作る共同事業体において、外国人府民への情報流通に関する調査を実施しています。

この調査では、それぞれの国籍やコミュニティにおいて、どのように情報が流通しているかをヒアリングするとともに、情報流通のキーパーソンや情報流通拠点(情報が集まりやすいところ、情報を入手しやすい場所な

ど)を探しだし、今後の外国人府民への情報提供を円滑に実施できるような方法をみんなで考えて行くことを目的としています。

外国人府民への情報提供におけるキーパーソンや情報の流通拠点をご存じの方がいらっしゃいましたら、下記までご連絡ください。また、外国人府民へのヒアリング時の通訳・翻訳への協力者も募集しています。

企画推進グループ 染矢、柳崎(06-6966-2400)

■「ふれあい交流祭」開催！

関西国際センター研修生交流支援協議会が主催する「ふれあい交流祭」は国際交流基金関西国際センターで研修を行っている海外からの研修生と地域の方々で直接交流できるお祭りです。各国からの研修生の自国紹介や書道、折り紙教室等の日本文化紹介ブース、ホールでの各国の民族衣装によるファッションショーや三味線の演奏など、楽しいイベントが盛りだくさんです。申し込み不要、参加費無料です。

皆さん、奮ってご参加ください。

日時：2010年11月23日(祝・火) 13:00～16:00

場所：国際交流基金 関西国際センター(田尻町)
(南海・JR りんくうタウン駅よりシャトルバスあり)

参加費：無料

問合せ：関西国際センター研修生交流支援協議会事務局(岸和田市国際親善協会)

TEL.072-443-3800

FAX.072-443-462

水・金以外はMAILでお願いします:

kokusai@mk.city.kishiwada.osaka.jp

(3) OFIX ネットワーク

■在大阪インドネシア共和国総領事館

インドネシア共和国総領事館は1954年神戸に設置され、1995年の阪神大震災後現在の心齋橋近辺に移転しました。

建物は大阪にあります。総領事館の管轄区域は関西、中国、四国を含む西日本の17府県になります。現任のイブヌ・ハディ総領事は今年1月にこちらに赴任しました。

政治関係は東京にある大使館が担当しており、総領事館は専ら経済、領事、情報提供、社会文化関連事項を取扱います。大企業や産業の集まる関西地区に位置することから、総領事館ではインドネシアと西日本、特に関西地区との間の貿易・投資の促進に力を注いでいます。

日本からの投資を呼び込むため、総領事館ではインドネシアの経済状況、ビジネスや投資に関する情報を提供するとともに、在インドネシア日本企業との良好な関係の維持にも努めております。また、インドネシアの企業が日本市場へ進出できる支援も行っています。

領事関係の業務としましては、管轄地域に在住の邦人保護とサービス提供が含まれます。旅券などの公的文書及び法律上の手続きに関する情報提供や支援を行います。日本人および在日外国人がインドネシアへ渡航する際の査証やその他の文書発給を行うことも、領事関係の業務となります。

社会文化や観光の分野では様々な活動を通して両国の関係を深めるべく努力を続けています。政府関係、

友好協会、芸術文化クラブ、親インドネシア派の日本人など関係機関と協力をして、多くのイベントが開催されており、その中にはインドネシアへの視察旅行だけでなく、演劇、展覧会、文化教室、料理教室などがあります。2008年に行われた最も大きな文化的催し物のひとつが、日尼国交樹立50周年行事として開催された両国の演劇コラボでした。



今年の11月にはインドネシアから銀行業や起業精神を学ぶため来日する研修生への研修、日本商工会議所及び大阪国際経済振興センターとの共催で行われる日本インドネシア経済連携協定に関するセミナー、女性保護に関する勉強会、インドネシア映画鑑賞が予定されています。

詳しくは、下記までご連絡ください。

〒542-0081 大阪府中央区南船場4-4-21

りそな船場ビル6階

電話: 06-6252-9825 - 31, Fax.: 06-6252-9872

ホームページ: www.indonesia-osaka.org

(4) 大阪国際クラブニュース

■上海万博への旅 大阪市立大学 陳 錦新

2010年の夏には、僕にとって忘れられない思い出があった。久しぶりに中国に戻りそして、あの憧れのキャラクター海包(ハイバオ)くんに出会った。そもそも、海包って誰なのか?もう知っている人が多いかもしれないが、ぼくの理解では「より良い都市、より良い生活」という現代都市—上海の美景と市民たちの前向きな生活態度を凝縮したものだ。今回の上海万博は参加国・地域・国際機関を含め246を超えるという史上最大の国際展覧会とされている。

それだけあって今年に入り、僕はずっと万博を見学するチャンスを待っていた。やっと9月のある日、僕と友人達は夏休みを利用して万博へ行って来た。宿泊

のホテルから黄浦江西岸にある会場まで順調ならタクシーで20分もかからないが、万博開催中の上海は町中あっちこち混んでいて、また、朝の渋滞にも巻き込まれてしまい40分もかかってしまった。会場に着いたのは朝の8時頃だった。

まだ早いから人が少ないだろうと友人に言ったところ、すでに溢れるほどの数に上る大勢の人が開場を待っていた。そして1時間後の9時30分、やっと入場できるようになった。僕が日本に留学していることが



